



# 拓け！自らの可能性

進路だより 第3号

令和5年12月22日発行

だて支援学校キャリア支援部

～社会参加に向けて～

## 高等部後期現場実習を終えて

高等部1年  
H・K

10月16日から27日の10日間、私はフルーツキャップ折りと校内清掃に取り組む班の班長を務めました。この後期校内実習2週間を振り返り、今後働く上で改めて大切だと思ったことが二つありました。

一つ目は、お客様に喜んでもらうために、責任をもって仕事に取り組むということです。どんな仕事でも、お客様からお金をいただく以上はしっかり働き、「頼んでよかったな」と満足してもらえるよう丁寧に正確に仕事を行わなければならないということに気付くことができました。

二つ目は、どんな事も「ベター」を目指すということです。私は、完璧に作業しなければと思うあまり、小さい失敗で落ち込んでしまうことがありました。作業の速さについても、班長として誰よりも速く作業しなければと、思っていました。しかし、周りとの速さ比べをすることで、作業自体がだんだん適当になっていくことに気付いたのです。人と比べるのではなく、焦らず、丁寧に、今の自分より少しだけ早く作業することが大切だと学びました。

実習を通して、以前はできなかったことができるようになり、自分で気付いた課題に向き合い、目標に向かって進むことができるようにもなりました。しかし、まだまだ課題もあります。その課題を日頃の学校生活の中で乗り越えていきたいと思います。来年は校外での実習があります。校内での学びを踏まえ、来年の実習に挑みたいと思います。



高等部2年  
Y・Y

私はファッションセンターしまむら様で後期現場実習を行いました。初めての实習場所で2週間しっかり行えるか不安ばかりでした。初出勤の時は店に入ると緊張しすぎて一瞬止まりましたが、息を整え、自信を持つようと考えて前に進みました。社員さん方に笑顔で元気におはようございます。」とあいさつすることができました。あいさつするときは相手の顔を見て決めていたのでしっかりできて良かったです。店長さんから作業内容の説明を受け、

さっそく品出しや清掃を開始しました。ていねいに教えていただいたのでスムーズに作業を始められました。品出しでは、たくさんの商品をひたすらハンガー掛けしました。大小のハンガーがあり、商品をどちらのハンガーにすればいいか迷っていたら「大きいサイズと書いてないものは全て小さいハンガーね」と優しく声をかけていただき安心しました。それから言われたことをしっかりメモをとりながら作業できました。

清掃では、1年生の時にアクティブサービス班で学んだダスタークロスで床清掃を行いました。お客様や商品とぶつからないように周囲に気をつけてできました。一番困ったのは清掃時にお客様に声をかけられた時です。それでも近くの店員さんに依頼し、代わりに対応していただきました。店員さんが近くにいることが心強く感じる事ができました。

今回、2週間休まず出勤することができました。接客もたくさん経験でき、なにより楽しく終えることができたのも店長さんや店員さんのご指導のおかげだと感謝しています。実習で学んだことを活かしてこれからも頑張ります。



高等部1学年主任 奈良輪雄矢

高等部1学年は、フルーツキャップ班、ソーシャルサービス班の2班に分かれて校内実習を行いました。生徒たちは基本的には前期とは違う班に所属し、新しい作業内容を体験することができるようにしました。その中で自分の得意な作業を知ったり、自分の課題を理解し、それを解決するための方法を考えたりする機会としました。その成果として年度初めに、教員から「得意なことは？」と質問されても答えられなかった生徒から、実習後には「僕は、人とやりとりするのは苦手だけど、コツコツ取り組む仕事は得意。」などと具体的な答えが聞かれるようになってきました。

高等部1学年は、1年間を通して自己理解をテーマに様々な学習活動を行ってきました。後期現場実習においても生徒たちが自分の課題と向き合い、試行錯誤して、成長する姿が見られました。次年度は、希望者は校外での実習となります。生徒が自分の将来について真剣に考え、自己選択・自己決定をすることができるように御家庭と連携を図り、指導・支援をしていきたいと思っております。今後とも、御協力をお願いします。

高等部2学年主任 菊田紋華

2年生は校外を中心に2週間の実習を実施しました。ほとんどの生徒が前期とは異なる事業所での実習となり、緊張しながらも、これまでの実習を振り返り、それぞれが設定した目標を達成しようと、一所懸命取り組む姿が見られました。実習後の報告会では、目標達成できたことだけでなく、『体調管理』や『集中力』、『コミュニケーション』など、課題となったことも反省として挙げられました。その課題を解決するためには、どのようにすればよいかを考え、実習の場だけではなく普段の生活から意識することが大切です。家庭との連携も必要となりますので、引き続き御協力をお願いいたします。

来年度は、これまでの経験を踏まえ、進路決定に向けて具体的に考える時期となります。「働く」ことの責任や「社会人」としての言動についてしっかりと考え、進路実現できるよう指導・支援をしていきたいと思っております。

## 中学部校内実習を終えて

中学部2年  
Y・T

初めて取り組んだ校内実習では、木工作業と保原総合公園での除草作業に精一杯取り組みました。

木工作業では、電動ドライバーでワゴンを組み立てたり、焼きごてで製品に焼き印をつけたりする工程を担当しました。

組み立てが終わった製品にガスバーナーの火で熱くしたこてを押し付け、ジューと音がして木が焦げ、良いにおいがすると桃の模様が出来上がります。難しかったけど楽しく作業に取り組むことができました。

これからの作業にも、がんばって取り組んでいきたいと思っております。



中学部3学年主任 大場文博

中学部では、10日間校内実習を行いました。活動内容としては、作業製品作りや農園芸活動、奉仕的活動に取り組みました。

作業製品作りや農園芸活動では、働くことに必要とされるスキルや態度について自分で目標を立て、作業日誌を通して評価を行いました。新しい活動にチャレンジする生徒、決めた活動にしっかり取り組む生徒、「あいさつ、返事、報告」をしっかり行う生徒など、それぞれに成長が見られました。

奉仕的な活動では、保原総合公園に行き、除草作業に取り組みました。地域の施設を利用し地域の人とかかわることのよさや、地域のためになる活動を行ったことは生徒の意識の変化にもつながったと感じます。

校内実習を通して一人一人のキャリア発達が見られたと思います。この経験を今後の生活に活かしていけるようにしていきたいと考えています。



キャリア支援部 武田吉英

今年度、中学部では10月16日(月)～27日(金)の10日間の実習期間となりました。

9月29日(金)には3学年を対象に事業所見学、10月6日(金)には高等部作業学習見学会を行い、高等部での作業の様子や実際の事業所での作業の様子などを見ることができました。その雰囲気を感じた上での校内実習となりました。校内実習では、主に木工製品の製作を行いました。「あいさつ」「言葉遣い」「作業の丁寧さ」などをキーワードにしっかり取り組みました。電動ドライバーなどの使い方のスキルアップにより、短い期間でたくさんの製品を作ることができました。

また昨年同様に地域との交流清掃活動では、伊達市スポーツ振興公社様の御厚意で野球場の除草作業をさせていただくことができました。

生徒たちは、これらの活動を通して「働くこと」への関心や意識が高まったことと思います。作業製品をお買い上げいただいた皆様に感謝申し上げます。



# 令和5年度第2回保護者進路研修会

進路指導主事 江田綾

11月1日(水)第2回保護者進路研修会を行いました。

今回は、伊達市・伊達郡の福祉サービス事業所の皆様から、各事業所の説明をしていただきました。

当日は、小・中学部、高等部の保護者が参加し、22カ所の事業所の説明を聞くことができました。パンフレットや事前の資料も御提供いただいたおかげで、情報をたくさん得る機会となりました。



参加した保護者からは「一度にたくさんのお話を聞くことができ良かった。」「将来の見通しをもつことができた。」「見学に行く時の参考にさせていただきたい。」など、参加して良かったとの感想をいただきました。

次年度も進路研修会を計画していきますので、御要望があればお寄せください。



## お知らせ

以下の資料を事務室前の掲示板に掲示していますので、来校した際に御覧ください。

- ① 第2回保護者進路研修会「伊達市・伊達郡の事業所説明会」(11/1本校で開催)
- ② 障がい福祉サービス事業所説明会(11/21アオウゼで開催)

## 新規福祉サービス事業所紹介

### ○株式会社サンエスコネット 福祉事業部 咲くら(さくら)

- ・サービス種別: 就労継続支援B型事業所
- ・住所: 伊達市馬場口1-18
- ・電話: 024-572-5177
- ・作業内容: 段ボールシール貼り、ケーブル関係等